

自然と文化科 活動記録 (公開講演会)

日時	2024年4月19日(金) 10:00~12:00	担当者
場所	クロスパル高槻8階イベントホール：午前 公開講演会 午後 各種会議 13:00~15:10 (今回は試験的に10分超過)	文：大森 美子 写真：大庭 健
備考	参加者数 1班20名 2班19名 3班19名 4班18名 外部 24名 合計100名	

テーマ：“春”の訪れを告げる植物たち

講師：田中 修 先生 (甲南大学名誉教授・農学博士)

最初にPJチーフより田中先生のプロフィール・昨年4月にご登壇頂いたこと、アンケートの結果、先生の講演は人気があり、参加者多数で今回は24名の外部聴講生が有った等の挨拶があった。昨年度の設問(6問)から始まり、新しい設問(18問)をユーモアたっぷりにご説明頂いた。

※邪馬台国で祭祀に使われていた「仙果」とは桃(不老不死)

※文化勲章にデザイン化された植物は橘(永遠の文化)の意。

※英語名で{ドックウッド}で日本名はハナミズキ(返礼の木)

花びらに見えるのは「苞」・・・ほう！

※早春の畑一面を黄色の花で埋め尽くし、「緑肥植物」の代表とは

ナノハナ 菜の花は食べて美味しい・景観植物・菜種油はSAF(持続可能な航空燃料)
都市油田(天ぷら油で飛行機をとばすぞ!)2030年には10%をSAFに。

◎緑肥植物とは・・・栽培した作物を収穫せずにそのまま耕して土にすき込む植物のことで、主に有機物や肥料成分を供給することを目的として新鮮な有機物を大量に土壌へ補給することが出来、養分供給や土壌改良効果を発揮する。

ナノハナ・マリーゴールド・レンゲ・クローバー など

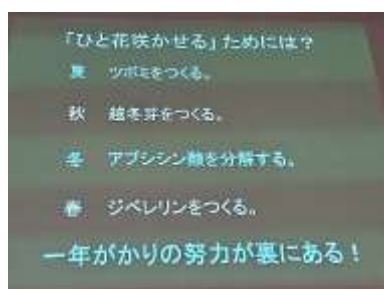
※古今和歌集で最も多く詠まれた、花かるた(花札)で3月の札に描かれている植物は桜

奈良時代の古今和歌集では梅 平安時代の万葉集では桜が多く詠まれている。

サクラの日・・・3月27日 3月(3×9)=27日???

◎サクラ・・・原産地(起源)はヒマラヤで温暖な地方に咲く、秋咲きのサクラがヒマラヤの高地に行くに従い、寒さの為、葉を落として休眠して春先に変化して、それが世界各地に広がった。秋咲きの桜(十月桜)や冬桜は「先祖帰り」と云われ、進化の過程で隠されていたものがその子孫に現れる現象。昔は秋に咲いていた。???

※「日本国政府の紋章」に使われている植物は五七の桐。(桐花紋)



感想 太田道灌にまつわる和歌

「七重八重花は〜」 松田聖子の「赤いスイートピー」のお話など

アッと言う間の2時間。設問もいつもどこかで見聞きしているが、アッそうなんだと思う所あり
「薬の王様」を産んだ「ヤナギ」に感謝。